

雪の壁2018

- ◆ 今年の雪の壁は17mの高さ
平年なみ(20年間平均16m)
- ◆ 12月上旬から2月中旬に寒冷な時期があり一気に積雪が増した。
- ◆ 3月は温暖な日が多く、ほとんど降雪がなかった。
降雨もあり、氷層がたくさんできた。
また、ざらめ雪層が増し、4月に入って積雪が急激に減少した。
- ◆ 全体に、寒暖の差が激しい冬期であった。寒冷な時期には冬型の気圧配置が続き、厚いしまり雪層が形成された。しかし、温暖な時期には冬の立山にも関わらず融雪や降雨があり、その際にできた氷層やざらめ雪層が多く見られた。

調査：富山県立山カルデラ砂防博物館
立山積雪研究会

雪の大谷 雪の壁 2018年4月15日

